

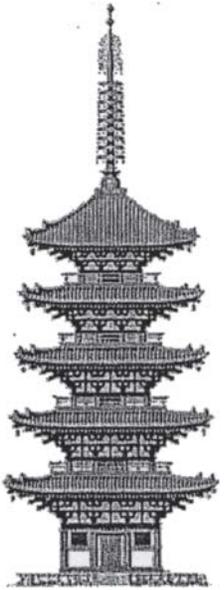
# 弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。春真っ盛りですね。さて、紙上遍路のかわら版。残すは**二十三ヶ寺**。頑張つて打ち通しましょう。今月も元氣に出発です。

## ★四国高野

六十五番から約二十三キロメートル、四国霊場の中で最も高い標高九一メートルに立つのが**六十六番、巨龍山(きよごうさん)雲辺寺**。

香川県と徳島県の県境の山岳地帯。現在の住所は徳島県ですが、讃岐霊場打ち始めの**関所寺**です。雲海に浮かぶ姿に由来したのでしようか、まさしく雲辺寺。お大師様十六歳の折、生誕地の**善通寺(七十五番)**用の木材を探して深山に入り、その風景に心を打たれて堂宇を建設したのが縁起です。

やがて**四国坊、四国高野**と呼ばれるようになり、阿波、土佐、伊予、讃岐の学僧が集まり、**学問道**場として隆盛します。

雲辺寺から眼下を望み、四国制覇の野望を語った**長宗我部元親**の時の四十八代住職、**俊崇坊**が諫めた逸話が語り継がれています。

## ★ふたつの大師堂

六十六番から約十二キロメートル下り、仁王門からお大師様お手植えの楠と榎(かや)の老木を横目に石段を登ると六十七番、**小松尾山大興寺**に到着です。

天平年間に**東大寺**の末寺として創建。その後、**最澄**との縁で**天台宗**となったものの、火災に遭って灰燼に帰した諸堂を**空海**が再興。**真言宗**に改宗。

**天台十二坊、真言二十四坊**を擁し、**台密、東密**の両道場として栄え、今でも本堂の両側に**最澄**、**空海のふたつの大師堂**が立つ珍しい霊場です。

仁王門の**金剛力士像**は四国最大級。鎌倉仏師として名高い**運慶**の作です。

地元では、**大興寺**というよりも、山号に因んで**小松尾寺**と呼ばれて親しまれています。



四国八十八ヶ所霊場マップ(六十六番から、六十九番)

## ★宇佐八幡

六十七番から約十一キロメートル、観音寺市に入って財田川を渡ると**琴弾山**の麓。

その中腹、同じ境内に立つ**六十八番と六十九番、七宝山(しっぽうさん)神恵院(じんねいん)**と**七宝山観音寺**。神恵院の山号は琴弾山と言われることもあります。大宝年間、**日証上人**がこの山で草庵を結んで修行中、近くの浜で、琴を奏でる翁の乗る船に遭遇。

上人はこの翁が**宇佐八幡**の化身と感得。船を神船として琴と一緒に山上に揚げて祀り、**琴弾八幡宮**を創建。

その**別当寺(神宮寺)**として建立した**弥勒佛敬寺(みろくききょうじ)**が神恵院、観音寺の起源で

す。大同年間、この地を訪れたお大師様が八幡宮の本地仏として**阿弥陀如来**を描いて本尊とし、七宝山神恵院と改名。鉱物学や地質学に精通していたお大師様、この境内に**瑠璃(るり)**、**珊瑚**、**瑪瑙(めのう)**などの七宝を埋めて地鎮したことが、山号の由来と伝えられています。明治維新の神仏分離令により、**阿弥陀如来像は西金堂(さいこんどう)**に移されました。

## ★一境内二霊場

お大師様は日証上人が引き揚げた船が**神功(じんぐう)皇后**と縁があり、皇后は**観世音**の化身と感得。お大師様は**聖観世音菩薩**を彫つて本尊として、七堂伽藍を建立して**観音寺**を創建。

室町時代には**足利尊氏**の子、**道尊大政大僧正**が四十五年間住職を務め、幕府の庇護を受けて隆盛を誇りました。

**一境内二霊場**なので、伽藍配置も混然一体。神恵院本堂の前には神恵院と観音寺の**大師堂**が並んで建っています。

## ★一夜建立

来月はいよいよ七十番台。あと一息ですね。七十番はお大師様がたった一夜で建立したと伝えられる**本山寺**。乞ご期待。

